

# 山梨 文学シネマアワード 2012

～文豪たちの愛した聖地で催される、映画人の夢の祭典～

本年2月に開催された、山梨県初の映画賞イベント「山梨 文学シネマアワード 2011」。県内のみならず全国でも話題となったこのアワードの第二回目となるイベントが、来年2012年2月16日(木)～18日(土)の3日間を会期として開催決定となりました。



[2011年2月 開催時の風景]

「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」を立ち上げ、世界の映画ファンから愛される映画祭へと盛り上げた小松澤陽一が、山梨という「物語の世界遺産」に満ちた場所で、「映画と文学をテーマにした映画賞」を軸に、著名な映画人らを招いた授賞式や祝賀パーティ、受賞記念ワークショップ、そしてそれらに連動する多彩な企画で、地域にさらなる活気をもたらします。

なお、今回のイベントでは、3月11日に起きた東日本大震災の復興支援の一環となる、さまざまな取り組みも実施いたします。

山梨県は、日本の歴史上、最も多くの文学者たちを育み、また数々の名作の舞台となってきた地域です。宝塚歌劇、東宝映画の創業者、小林一三翁の故郷でもあり、映画界で活躍する数多くの偉人たちを輩出してきました。

映画は誕生以来、文学作品を糧にして発展してきた歴史があります。

山梨ならではの、〈物語の歴史的文化遺産〉に脚光を浴びせ、「文学」と「映画」をミックスさせた、〈学び〉がコンセプトの新しい映画賞の創設。それが[山梨 文学シネマアワード]です。

「文学の道散策ツアー」で物語の歴史的文化遺産に学び、「受賞記念ワークショップ」で、芸術と人生の匠たちのメッセージに、真摯に学んで欲しいと、私たちは願っています。

創設プロデューサー 小松澤 陽一

## 文学や映画に貢献してきた映画人を讃える二つの賞 「マスタークラス アワード」「リヤドロアワード」

芸術貢献栄誉賞でもある「マスタークラス アワード」は、映画・文学界において、大きな業績を残し、今なお精力的に活躍されている方々に深い敬意をこめて捧げる賞。

また、「リヤドロアワード」は、本アワードに創設にいち早く賛同してくれたリヤドロジャパン社の、優れたアーティストを支援する精神を受け継いだ賞。円熟したアーティスト、あるいは新しい世代のアーティストから、輝きを放つ方々に贈られます。

## 2012年に百歳を迎える映画監督・新藤兼人氏をはじめ、 地元・山梨出身で太宰治や井伏鱒二と交流のあった 俳優・土屋嘉男氏など、豪華ゲストが出席予定

今回のアワードのゲストの目玉は、何といても2012年に百歳を迎える映画監督・新藤兼人氏。最新作の『一枚のハガキ』は、国内のみならず海外でも高い評価を得ており、現在も現役で素晴らしい作品を作り続けています。

また、『七人の侍』はじめ数々の黒澤明監督作品、その他数多くの映画・テレビドラマに出演している俳優・土屋嘉男氏は、地元・山梨は塩山の出身。少年のころに作家の井伏鱒二や太宰治とも交流があり、まさに本アワードにふさわしいゲストです。

このほかにも、多数の著名映画人を現在出席オファー中です。

## 世界初の「学び」の映画賞 「受賞記念ワークショップ(トークショー)」

山梨県と甲府市の各地(湯村温泉郷、県立文学館、桜座、塩山シネマ、テアトル石和他)で、受賞ゲストらによるワークショップを開催します。

## 「物語の文化遺産」に学ぶ、新しいツーリズム

受賞ゲストの方々と県外からのお客様のために、山梨県と甲府市内の文学ゆかりの地を堪能できる「山梨、甲府 文学の道散策ツアー」を実施します。

## 東日本大震災復興支援イベント「ニュー・シネマ・パラダイス・サミット」

県内にある「テアトル石和」と「塩山シネマ」、そして宮城県石巻市で被災した「岡田劇場」「日活石巻パールシネマ」。

これら四つの昭和の映画館をつなぎ、その歴史と物語の文化遺産に学びます。

●主催：山梨 文学シネマアワード実行委員会 ●特別協賛：リヤドロジャパン株式会社、株式会社常磐ホテル

このリリースに関してのお問合せ先： **山梨 文学シネマアワード 事務局**

TEL: 03-6457-7011 FAX: 03-6880-1492

URL: <http://www.thexicompany.com/yamanashi>

上記ウェブサイトより報道資料(写真・動画)のダウンロード・閲覧が可能です。  
ご希望の方は当事務局までメールにてご連絡ください。折り返しパスワードをお知らせします。

MAIL: [yamanashi@thexicompany.com](mailto:yamanashi@thexicompany.com)



リヤドロミュージアム・イン・常磐ホテル

## Lladró Museum in Tokiwa Hotel 2012

～ヨーロッパ・ポーセリン芸術と日本の伝統美が会う時～

スペインのポーセリン(磁器)ブランドのリヤドロは、和と洋の融合をテーマに、甲府市湯村温泉郷の名門、常磐ホテルで、第二回目となる「リヤドロミュージアム・イン・常磐ホテル」を開催します。

2012年1月18日から5月5日までの期間、伝統と格式のある常磐ホテル内に、2012年に発表されるリヤドロ60周年記念作品の新作ひな人形や五月人形、兜など和風の作品をはじめ、時代を映す希少な作品から近年の大作まで、リヤドロを代表する約60点を展示します。

『西洋のアートと日本の伝統美が会う時、これまでにないアート空間が生まれる』という発想が本プロジェクトのコンセプト。作品は、置かれる環境によって見え方が大きく変わります。磁器造形の限界に挑戦するクラフトマンシップと三千坪の庭園を誇る純和風な環境が、互いのポテンシャルを引き出し合い、これまでにないアート体験を創出します。ショップの売場に置かれているのとは違う環境で、リヤドロ作品を見ていただきたい。

本当に良い環境の中で見ていただく機会があってこそ、リヤドロ作品のこだわりや品質が真に理解されるものと思います。



2012年発表 リヤドロ「雛人形」60周年記念モデル



実施詳細は下記の通りです。

～ 記 ～

イベント名: **Lladro Museum in Tokiwa Hotel 2012**

開催期間: 2012年1月18日(水)～5月5日(土)

実施会場: 常磐ホテル 山梨県甲府市湯村2-5-21 TEL: 055-254-3111(代)

[2011年 第1回開催時の会場風景]



Photo by Rowland Kirishima

リヤドロジャパン株式会社

東京都千代田区神田錦町3-17 廣瀬ビル5F  
TEL: 03-3293-0801 (代) FAX: 03-3293-0816  
URL: <http://www.lladro.co.jp/>  
代表: 西本 学

このリリースに関してのお問合せ先: リヤドロPR代理元 株式会社ハウ

TEL: 03-5414-6405 FAX: 03-5414-6406

担当: 小池美紀(miki@how-pr.co.jp)、相沢美恵(mie@how-pr.co.jp)